### ■■ 施設見学会 ■■

## 宮古島市クリーンセンター

# ((株)神鋼環境ソリューション)

#### 1. はじめに

沖縄県、先島諸島に属する宮古島は、着陸 時、機内から見るとよくわかるのですが、山 らしい山がなく、平らな島です。山がないか ら川がなく、赤土の流出で海が汚れる心配が ないため、これまで、美しい島の環境を維持 して来られたとのこと。

この、美ら海・美ら島を守る施設として、新しく出来たばかりの宮古島市クリーンセンターを、(株)川崎技研のご協力により、平成28年11月、平成28年度の企画運営委員会の施設見学会として見学致しました。

#### 2. 視察概要

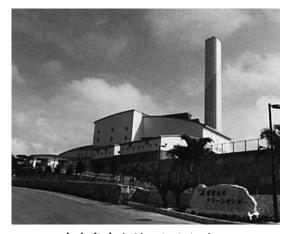
1) 日程 平成28年11月21日(月)

2) 参加者 17名

3) 視察先 宮古島市クリーンセンター

#### 3. 施設概要

1) 事業主体 宮古島市



宮古島市クリーンセンター

2) 所 在 地 沖縄県宮古島市平良字西仲 宗根地内

企画運営委員会副委員長 三野 淳一

3) 規 模 63t/日(31.5t/16h×2炉)

4) 施工会社 (株) 川崎技研

5) 工 期 平成25年3月~平成28年 3月

6) 炉 形 式 准連続式焼却炉 (ストーカ 方式)

7) 処理対象物 一般廃棄物可燃ごみ+下水 道処理し渣+災害廃棄物(不 適物除く)

8) 敷地面積 総面積:26,300m<sup>2</sup>

9) 建築面積 クリーンセンター: 2,520m<sup>2</sup>

管理棟:583m<sup>2</sup>

#### 4. 施設運営状況

宮古島市クリーンセンターは、平成17年10月いわゆる平成の大合併により、平良市と宮古郡城辺町、下地町、上野村および、伊良部島、下地島を町域とする伊良部町の5市町村が新設合併し誕生した、「宮古島市」のごみを一手に引き受ける施設として、平成28年3月に竣工しました。

これまで、3箇所で処理していたごみを島内 1箇所で処理するため、安全、安定性を確保し たストーカ方式のシステムが採用され、運営が 行われています。

市全体の人口は54,000人で、実際のごみ発生量は50t/日となり、63t/日規模の本施設で十分な処理が行われ、焼却灰は、島内2箇所の最終処分場で最終処分されます。

施設の運転は、一般競争入札により、宮古島市内の事業者が受託されているとのことです。

本施設は、台風の多い島嶼型施設の特徴として、風水害時でも衛生確保が出来るよう、ピット容量を10日分、ピットはダブルピットとして、ごみの積み上げが出来るよう、工夫されています。

さらに、 $CO_2$ 削減を先取りする形で、太陽光 発電、LED 照明が採用されています。

本施設は16時間稼動ですが、毎日燃し切り 運転を行い、翌日の立ち上げは、炉内の保有 熱にて、すぐに安定運転に移行出来るとのこ とでした。

また、家庭から発生する生ごみは別途回収され、宮古島市資源リサイクルセンターにて、家畜糞尿、剪定枝、木の葉、バガス、製糖工場から出るケーキなどとともに、コンポスト処理されているとのことで、先進的な取組みが進んでいます。

#### 5. 終わりに

今回見学させていただいた宮古島市クリーンセンターは、美しい島の景色に溶け込むように工夫された流線型の屋根が特徴で、屋内は随所で開口を大きくとり、自然光を取り込んだ、とても明るい、清潔感のある施設です。

見学通路も、この規模の施設としては十分 すぎるほどゆったり確保されており、入場か ら退出まで、五感に一切不快な印象を与えな い本施設の見学は、地域の子供たちをはじ め、さぞかし良い印象を持って帰ることが出 来るだろうなと感じました。

現在、宮古島市は、隣接する旧焼却炉を解体し、リサイクルセンター・プラザを建設中とのこと。

平成30年に全体が完成すれば、本当に素敵 な施設が出来上がるのだろうと思います。

安定した操業を続けておられる背景には、

美しい島の環境を守るという強い決意の下、 多くの関係者による日々の努力の賜物だろう と感じております。

最後に、業務多忙な中、施設の説明、見 学、質疑応答に丁寧に対応していただきまし た宮古島市生活環境部環境衛生課の川平課長 様をはじめ、関係者の皆様方に紙面をお借り して心より厚く御礼申し上げます。



会議室で説明を受ける見学者



施設内を見学



施設の前で